

みんなでつくる 子どもの権利が守られる世界

みなさんは、自分にどんな「子どもの権利」があるか知っていますか？

どの子どももおとなと同じように、生まれながらに「人権」をもっています。

そして、子どもは成長している途中なので、子どもだからこそ必要なこともあります。子どもが人間らしく幸せに生き、自分の能力をのばして元気に成長するために必要なこと、それが「子どもの権利」です。

いまから35年前にできた「子どもの権利条約」によって、子どもにはどんな権利があるのかが定められました。

みなさんにも、世界中すべての子どもたちにも、等しく「子どもの権利」があります。でも、その権利が守られているかどうかには、ずいぶん差があります。世界のいろいろなところで異なる生活をおくる子どもたち。どんな権利がおびやかされているのか、考えてみましょう。

デジタル版を見てみよう！

子どもたちのようすが、
もっとよくわかるよ！



コンゴ民主共和国



この学校が避難所になったとき、黒板を燃やして火をたいて料理したんだ。

ぼくらの国も戦争をしているんだ。

ガザ（パレスチナ）



第28条
教育を受ける権利

いつ帰れるのかわからない。うちのベッドで眠りたいのに……

急に戦争になったのに、げろーと言われたら、おうちをはなれていま、家族でこのテントでくわしているの。

ブルキナファソ



第31条
休み、遊ぶ権利

争いが続いてたくさんの人たちが避難しているの。学校に通えなくなりました。子どもも。

第19条
あらゆる暴力からの保護

アフガニスタン



家の近くに水道はないからみんな、この川まで水をくみにくるの。

川の水はきたなく、おなかをむす。

第27条
生活水準の確保

イエメン



第24条
健康・医療への権利

はしかと風疹の予防接種を受けたい。この注射をしたら病気になる。くすむんだ。つづいて、ぼくらの国でも戦争が続いているんだ。

ユニセフは…

ユニセフ(国際連合児童基金)は、世界の子どもの命と健やかな成長を守るために活動する国連の機関です。

ユニセフの主な活動

- ① 病気や栄養不良から子どもたちを守る
- ② 安全な水や衛生環境を広める
- ③ すべての子どもが学校に通って学べるようにする
- ④ 紛争や災害などに厳しい状況にある子どもたちを守る
- ⑤ 「子ども最優先」の考えを広め、子どもの権利が守られるよう働きかける



